

津軽燈LAB・monova主催

「津軽塗マグネット・お箸・お椀づくり」ワークショップ開催！

2023年12月9日（土）・10日（日） ※「お椀」は好評につき満員御礼

青森県の伝統的工芸品「津軽塗」を施したユニークな商品を展開している「津軽燈LAB」の代表、高橋武敏氏によるワークショップです

大好評の津軽塗体験、第4弾！

今年1月・4月・9月に開催して、毎回大好評の津軽塗ワークショップ。第4弾として、今回は「マグネット・お箸・お椀」の3種類の中から選んでいただけるワークショップを開催いたします。

津軽塗の工程は数多く、延べ48工程にも及びます。そのうち、津軽塗の独特の模様を作り出す「荒研ぎ」という工程を体験していただきます。紙ヤスリを使って、「マグネット・お箸・お椀」のいずれかを水研ぎしていきます。作業が終わりましたら、青森にて津軽塗の職人の手による「艶つけ」という作業に移行します。完成したものは、参加された皆様の元へ後日お届けいたします。

お子様も楽しく取り組んでいただけることから、親子でのご参加も多いワークショップです。体験を通して、モノづくりの背景や文化・歴史などを学んでいただきながら、「ものを大切に作る心」も一緒に育んでいけたらと思います。

皆様お誘いあわせの上、是非ご参加ください。



【津軽塗お椀 イメージ】



【津軽塗マグネット イメージ】



【津軽塗体験 イメージ】

「津軽塗マグネット・お箸・お椀づくり」ワークショップ

<開催概要>

日時：2023年12月9日（土）

※マグネット・お箸（全塗り） 定員4名（各回）

①11:00～②13:30～③14:30～④15:30～⑤16:30～⑥17:30～

2023年12月10日（日）

※お椀（赤）

①11:00～12:30 定員3名 ②13:30～15:00 定員2名

所要時間：マグネット・お箸 約30分、お椀 約1時間30分

場所：monova（東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー5階）

参加費：マグネット 2,200円、お箸（全塗り） 4,400円、お椀 7,700円

※材料費・職人による仕上・配送料・消費税込の金額です。

主催：津軽燈LAB・monova

【事前申込方法】

お名前・ご住所・電話番号・メールアドレス・参加希望日時・希望内容・希望人数を明記の上、メールにてお申込みください。monova受付でも申込可能です。

申込先メールアドレス：info@monova-web.jp

※メールの場合、件名に「ワークショップ申込み」とお入れください。

【津軽燈LAB】津軽燈LABは青森県弘前市に位置し、津軽の伝統工芸「津軽塗」・「こぎん刺し」・「あけび蔓細工」等、照明器具や小物に取り入れ、新感覚のデザイン・モノづくりを提案しています。代表の高橋武敏氏は、ティディベア作家としても活動しており、2017年ティディベアコンベンションで銅賞<カテゴリーD>を受賞しています。

■ <https://tsugaru-akarilab.jimdofree.com>

「テーブルウェア・フェスティバル ～暮らしを彩る器展～」

出展事業者のご紹介

「テーブルウェア・フェスティバル」は、日本各地の漆器、陶磁器、ガラスなどのテーブルウェアが揃う“器の祭典”です。今回は、東京ドームシティプリズムホールで12月5日から12月11日まで開催されます。イベントには monova 出展者や monova とゆかりの深い事業者が出展していますので、ご案内いたします。



<出展事業者(事業者名は五十音順・敬称略)>

【大谷焼 徳島】(画像上)

ブース番号:36

～約230年の歴史。窯元ごとの個性を大切にした産地～
徳島県で240年以上の歴史を持つ伝統的工芸品「大谷焼」。4窯元が共同で出展しています。
伝統を継承しながら、日常生活に馴染みやすいデザインや使い心地を追求した器を制作しています。

【山崎金属工業 株式会社】(画像下)

ブース番号:64

～厚さとフォルムのこだわりで口当たりの良さを追求～
金属加工が盛んな新潟県燕三条地域でカトラリーを製造する山崎金属工業は、流行に左右されない長期的な視野に立ったものづくりを目指しています。
洗練された美しいデザインは勿論のこと、細部まで磨き上げられたカトラリーの口当たりには多くのファンがおり、ノーベル賞授賞式の晩餐会にも使用されるなど、その評価は世界中に広がっています。



テーブルウェア・フェスティバル～暮らしを彩る器展～

<展示会概要>

会期：2023年12月5日(火)～12月11日(月)
10:00～18:00

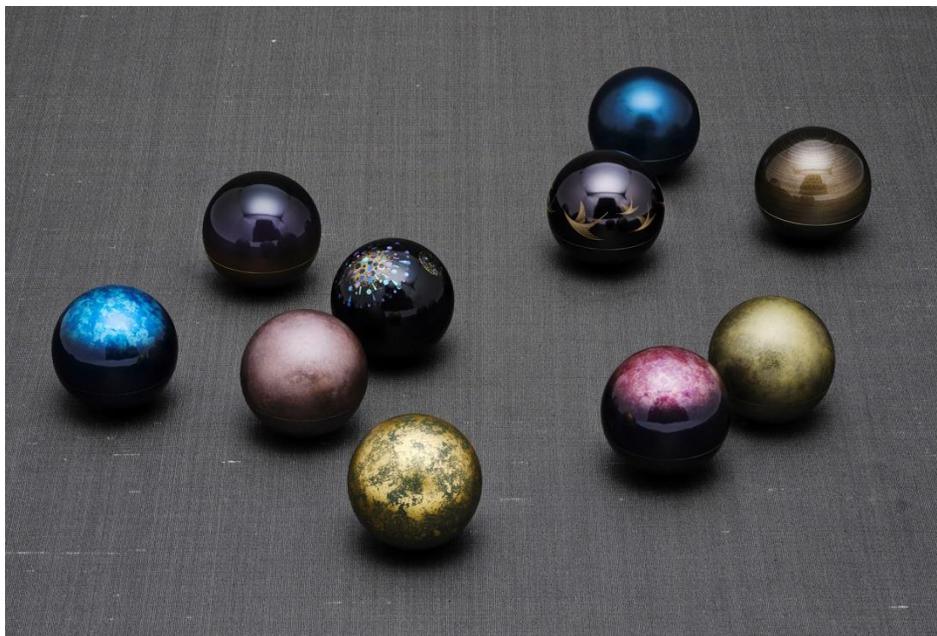
会場：東京ドームシティプリズムホール

主催：テーブルウェア・フェスティバル実行委員会
(読売新聞社、株式会社東京ドーム)

※本展示会についての詳細は、公式Webサイトをご覧ください。

日本最大級の総合コンペ「工芸都市高岡クラフトコンペティション」

～ monova 出展者 山口久乗が初入賞～



株式会社山口久乗は富山県高岡市で115年余り、高岡銅器の仏具を制作しています。伝統工芸高岡銅器の職人の技でつくられる久乗(きゅうじょう)おりんなど、近年は、「おりんの音色や響きを、仏具としてだけでなく、日常生活の中でお役立ていただきたい」との思いから、インテリアと調和するモダンなデザインのアイテムを展開しています。

この度、日本最大級の総合コンペ「工芸都市高岡クラフトコンペティション」にて、「かたみいれ 百様玲瓏」が「地域貢献賞【高岡市長賞】」を受賞いたしました。「かたみいれ」は、伝統工芸高岡銅器の職人がそれぞれに匠の技を存分に発揮し、美しく丁寧に作り上げられました。一人ひとりが特別な存在であることにそっと寄り添うものとなっています。

400年以上の伝統がある、高岡の職人技。次世代やその先まで技が受け継がれていくように、皆様に「欲しい」と思っていただけるものをこれからも作り続けます。



■かたみいれ 百様玲瓏 <monovaでもご紹介しています>

素材：真鍮

サイズ：幅48mm × 奥行48mm × 高さ46.5mm

価格(全て税込)：左から時計回り(①～⑤、⑥～⑩)

①星の海 ②夜明 ⑤桜月 ⑧星の軌跡 ⑨清月 ⑩宵の桜：各44,000円

③天空の華：88,000円 / ④黄金雲：66,000円

⑥飛翔：55,000円 / ⑦深海：33,000円

【株式会社山口久乗】明治40年(1907年)創業の富山県高岡市の仏具メーカー。伝統工芸高岡銅器の職人の技によって作られる「久乗おりん」は「1/fのゆらぎ」の定義に合う音色で、聴く人をリラックスさせ、心を整えます。この音色を日常生活の中でお役立ていただくべく、おりんの楽器を作り演奏会を開催したり、駅の発車音やチャイムなどの公共の音にしたり、インテリアとしても楽しいアイテムを開発しています。

■<https://www.kyujo-orin.com/>